

多文化便り二二二号

続けて
刊行

多文化のおうち 展示内容

2018年度、アジア祭の多文化コミュニケーション学科の各地域の展示内容が決まりました。

中国	四合院
韓国	韓屋（ハノク）
東南アジア	トンコナン（トラジャの家）
南アジア	ブンガ（メグワルの家）
中東	サナアの家屋
中南米	グアナフアトの家屋

それぞれの地域の伝統的な家屋ですが、様々な理由から現在では数が少なくなっています。四合院や韓屋は近代化の中で、減少しています。今日では、都市部の四合院や韓屋はホテルやカフェとして商業的に利用されています。船型の屋根を持つトンコナン、円筒形の家屋ブンガ、メキシコのグアナフアトの建物は、それぞれ特徴ある建物として注目されてきましたが、やはり、減少傾向にあります。イエメンの首都、サナアは古くから交易の拠点として栄えてきました。城壁に囲まれた旧市街には幾何学模様で装飾された窓や壁を持つ家屋が並んでいます。2015年、空爆を受け、建物の多くが破壊されました。今年度はグローバル化が進む現在、伝統的な家屋がどのような状況にあるのかを考えながら、各地域の家屋の展示を行います。



トラジャの人たちが昔、海の近くに住んでいたからだって。

ト>コ+>の屋根ってなんで船の形をしてるかな？

インドのグジャラート州に住むメグワル族の人だって。

ブンガって誰が住んでいるの？

工作は久しぶり！

展示するものが決まったら、工作用紙を用いて模型を作ることからはじめます。写真をよ〜く見ながら、どの大きさでどの部分を作るかを考えます。その過程で、家屋の素材や、居住形態など、家屋の社会的・文化的背景への理解も深まります。

今後の日程

10月上旬 後期専門ゼミで協力の呼びかけ
10月31日 準備
11月1日～3日 アジア祭
11月4日 片付け

イエメンのジャンビヤというナイフをダンボールで作ってみました。今でも成人男性は、ジャンビヤを腹部に差すのが正装とされています。

